

令和 7 年度 学 習 の 手 引 き

教科名	家庭	年次	1	使用教材	家庭総合 明日の生活を築く 開隆堂
科目名	家庭総合	必修			ニューライブラリー家庭科2025 実教出版
		単位	2		

科目の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を身につけることを目指す。

(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身につけるようにする。

(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて理論的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

学習方法

- ・授業での学びを、学校全体の活動や地域の活動と結びつけて考えてみる。
- ・授業で学んだことを、自分の自立のために日々実践する。
- ・日常のニュースに目を向け、解決策を考えたり自分にできることを考えたりする。

評価の観点

次の観点に基づき、単元または内容のまとまりごとに評価を行います。前期末にはそれらを総括して評価を行います。学年末は1年間を総括して評価を出します。

評価の観点		評価の観点の趣旨
①	知識・技能	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解するとともに、家族・家庭、消費や環境などについて生活を主体的に営むための技能を身につけることができる。
②	思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけることができる。
③	主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとすると共に、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造し、実践しようとしている。

評価方法

評価方法\観点	①	②	③	備 考
定期考査	○	○		
実技実習	○	◎	◎	
宿題	○	○	◎	
授業プリント	◎	◎	◎	
行動観察	○	○	◎	
レポートの記述	○	○	○	
授業の取り組み			◎	

◎特に重視する点

評価への総括

評語	評価	評定
A A A	10	5
A A B	9	
A B B	8	4
A A C	7	
A B C	6	3
B B B	5	
B B C	4	2
A C C	3	
B C C	2	1
C C C	1	

内容のまとめりごとの評価規準

科目名: 家庭総合

評価の観点 内容のまとめり		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	A人の一生と家族・家庭及び福祉	・人の一生について、自己や他者、社会とのかかわりから様々な生き方があることを理解している。 ・家族家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会との関わりについて理解している。 ・子どもの生活と発達、遊びについて理解を深め、子どもの発達に応じて適切に関わるための技術を身につける。	・将来を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の生活および職業生活について考察している。 ・家庭や地域のよりよい生活を創造するために男女が協力して、家族の一員として役割を果たし家庭を築くことについて考え、工夫している。 ・子どもの健やかな発達を支えるために、子供との適切なかかわり方に問題を見出して課題解決する力を身につける。	・様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭及び社会について課題解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 ・子どもとの関わりと保育・福祉について、課題解決に主体的に取り組んでいる。
2	B衣食住の生活の科学と文化	・ライフステージの特徴や課題に着目し、健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活や食生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができる。 ・衣生活や食生活の自立に必要な技術を身につけている。	・主体的に衣生活や食生活を営むことができるよう目的や個性に応じた生活、健康に配慮した生活に関して、問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを、根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題解決する力を身につけている。	・よりよい社会の構築に向けて、衣生活・食生活の科学と文化について課題解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
3	C消費生活と持続可能な社会	・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう、消費者問題や消費者の自立と支援について理解している。 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画について理解を深めている。	・自立した消費者として生活情報を活用し適切な意思決定に基づいて行動できるよう、責任ある消費について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	・よりよい社会の構築に向けて、消費行動と意思決定について、課題解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
4	Dホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動		・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	・よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について、課題解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
5				
6				
7				
8				

年間学習計画

教科(家庭)学年(1)
履修形態(必修)

科目(家庭総合)
単位(2)

学期	時	単元名 (内容のまとめ)	教材 題材	主な学習内容	育成する 資質・能力	主な評価方法	評価の 観点		
							①	②	③
前	7	青年期の自立 1人の一生と青年期 2青年期を生きる 3将来を見通しこれからを生きる (A人の一生と家族家庭及び福祉)	教科書	各ライフステージの課題を学習する。 今の自分を客観的に見つめ、生き方を考える。 固定的な性別役割分業意識を見直し男女の協力について考える。 自分の内面を見つめ、個性を表現する。	・発見力 ・学ぶ力 ・探究力 ・思考力	定期考査 実技実習 宿題 授業プリント 行動観察 レポートの記述 授業の取り組み	○	○	
	8 h	家族家庭及び社会 1自分が拓く人生 2個人・家族と地域・社会 3家族と法律 4持続可能な家庭生活 (A人の一生と家族家庭及び福祉)	教科書 授業プリント	家族家庭の取り巻く状況について学習する。 家族家庭に関する基礎的な法律を知り、現在の動きを学習する。 家事労働・職業労働について知り、ワークライフバランスについて考える。	・発見力 ・学ぶ力 ・探究力 ・グローバル力 ・思考力	定期考査 実技実習 宿題 授業プリント 行動観察 レポートの記述 授業の取り組み	○	○	
－	15 h	衣生活の科学と文化 1人間と被服 2被服の科学と管理 3被服の選択と安全 4衣生活の文化 5被服を作る (B衣食住の生活の科学と文化)	教科書 授業プリント	衣服の役割や文化、衣生活を取り巻く状況について学習する。 衣生活の自立を考え、衣服の材料や管理の方法を科学的に学習する。 衣服製作の基本を学習する。 小物及び衣服制作を通して裁縫の技術を身につける。	・発見力 ・思考力 ・コミュニケーション力	定期考査 実技実習 宿題 授業プリント 行動観察 レポートの記述 授業の取り組み	○	○	
	5 h	生活を支える経済 1収入と支出 2貯蓄と負債 3世界とつながる家計 (C消費生活と持続可能な社会)	教科書 授業プリント	収入と支出について、社会情勢による変化やライフステージによる変化について学習する。 生涯を見通し、貯蓄の必要性や生活における経済計画の立て方について学習する。 資金調達は貯蓄だけでなく、金融商品の購入やローンを組む方法があることを学習する。 家計と国民・国際経済の関係、経済循環における家計の位置付けについて学習する。	・発見力 ・学ぶ力 ・思考力	定期考査 実技実習 宿題 授業プリント 行動観察 レポートの記述 授業の取り組み	○	○	
	5 h	消費行動と意思決定 1消費生活の現状 2消費生活の落とし穴 3行動する消費者 (C消費生活と持続可能な社会)	教科書 授業プリント	近年の消費者問題を知り、被害にあわないために客観的に検討することや対処法について学習する。 成年年齢引き下げと契約の仕組みを学習する。 クレジットカードの仕組みと多様なキャッシュレス決済について、短所と長所を学習する。 消費者として、社会への影響を考えて行動する責任と意思決定の重要性について学習する。	・発見力 ・思考力 ・コミュニケーション力	定期考査 実技実習 宿題 授業プリント 行動観察 レポートの記述 授業の取り組み	○	○	
	5 h	持続可能なライフスタイルと環境 1消費生活の裏側で 2消費者として取り組む 3持続可能な社会とライフスタイル (C消費生活と持続可能な社会)	教科書 授業プリント	自分の消費生活のあり方と世界の環境問題とのつながりについて学習する。 今日の世界の環境問題をはじめとする課題と、それらを解決していくために、今自分ができることについて考える。 将来の経済的自立について学習する。	・学ぶ力 ・探究力 ・思考力 ・寛容力 ・コミュニケーション力	定期考査 実技実習 宿題 授業プリント 行動観察 レポートの記述 授業の取り組み	○	○	
後	10 h	食生活の科学と文化 1日本の食生活の今 2食の科学と健康 3美味しさと安全の科学 4さあ料理を始めよう (B衣食住の生活の科学と文化)	教科書 授業プリント	一日分の献立を考える。 衛生的な調理の方法、食材の管理について学習する。 地元でとれる食材について学習する。 簡単な調理の方法を学び、実習を通して技術を身につける。	・表現力 ・自己指導力	定期考査 実技実習 宿題 授業プリント 行動観察 レポートの記述 授業の取り組み	○	○	
	10 h	子どもの生活と保育 1子どもの世界 2育つ子ども 3子どもと関わる 4子どもの育ちを考える (A人の一生と家族家庭及び福祉)	教科書 授業プリント	子どもの生活や遊びの意義について学習する。 子どもの育ちを支える福祉や経済支援について学習する。 子どもの遊び道具を製作する。 子どもとの適切な関わり方を学習する。	・学ぶ力 ・探究力 ・思考力 ・自己指導力	定期考査 実技実習 宿題 授業プリント 行動観察 レポートの記述 授業の取り組み	○	○	
	5 h	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 (Dホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動)	教科書 授業プリント	家庭生活上の課題を設定し解決方法を考える。	・学ぶ力 ・探究力 ・思考力 ・自己指導力	定期考査 実技実習 宿題 授業プリント 行動観察 レポートの記述 授業の取り組み		○	

単元の計画

教科名		家庭	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力	・発見力 ・学ぶ力 ・探究力 ・思考力
科目名		家庭総合	教材 題材	教科書		
単位数		2				
単元名		青年期の自立				
内容のまとめり		2青年期を生きる 3将来を見通しこれからを生きる (A人の一生と家族家庭及び福祉)				
単元の目標		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		・人の一生を生涯発達の視点で捉えることができる。 ・自分自身を見つめ、内面を表現する。	・自己の意思決定に基づき責任を持って行動することについて考える。 ・男女が協力して家族の一員として役割を果たし家庭を築くことについて主体的に考え、問題を見いだして課題を設定し、解決策を考える力を身につける。		・青年期の自立について課題の解決に主体的に取り組む。	
単元の学習内容		各ライフステージの課題を学習する。				
		今の自分を客観的に見つめ、生き方を考える。				
		固定的な性役割分業意識を見直し男女の協力について考える。				
		自分の内面を見つめ、個性を表現する。				
単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		・人の一生を生涯発達の視点で捉えることができる。 ・自分自身を見つめ、自分の内面を表現することができる。	・自己の意思決定に基づき責任を持って行動すること、男女が協力して家族の一員として役割を果たし家庭を築くことについて主体的に考え、問題を見いだして課題を設定し、解決策を考える力を身につけている。		・青年期の自立について課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	
主な評価方法	定期考査	○	○			
	実技 実習	○			○	
	宿題	○			○	
	授業プリント	○	○		○	
	行動観察		○		○	
	レポートの記述				○	
	授業の取り組み				○	
配当時間		7時間				
補足等						

単元の計画

		家庭	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力	・発見力 ・学ぶ力 ・探究力 ・グローバル力 ・思考力
科目名		家庭総合	教材 題材	教科書 授業プリント		
単位数		2				
単元名		家族家庭及び社会				
内容のまとめり		1自分が拓く人生 2個人・家族と地域・社会 3家族と法律 4持続可能な家庭生活 (A人の一生と家族家庭及び福祉)				
単元の目標		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		・家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会との関わりについて理解する。	・家庭や地域のよりよい生活を創造するために男女が協力して、家族の一員として役割を果たし家庭を築くことについて考える。		・よりよい社会の構築に向けて、家族・家庭について生活を工夫し、実践する。	
単元の学習内容		家族家庭の取り巻く状況について学習する。				
		家族家庭に関する基礎的な法律を知り、現在の動きを学習する。				
		家事労働・職業労働について知り、ワークライフバランスについて考える。				
単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		・家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会との関わりについて理解している。	・家庭や地域のよりよい生活を創造するために男女が協力して、家族の一員として役割を果たし家庭を築くことについて考え、工夫している。		・よりよい社会の構築に向けて、家族・家庭について生活を工夫し、実践しようとしている。	
主な 評価 方法	定期考査	○	○			
	実技 実習				○	
	宿題				○	
	授業プリント	○	○			
	行動観察		○		○	
	レポートの記述	○	○			
	授業の取り組み				○	
配当時間		8時間				
補足等						

単元の計画

教科名		家庭	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力	・発見力 ・思考力 ・コミュニケーション力
科目名		家庭総合	教材 題材	教科書 授業プリント		
単位数		2				
単元名		衣生活の科学と文化				
内容のまとめり		2被服の科学と管理 3被服の選択と安全 4衣生活の文化 5被服を作る (B衣食住の生活の科学と文化)				
単元の目標		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		・衣服の役割と歴史や文化、衣生活を取り巻く状況を理解する。 ・衣服制作の自立に必要な技能を身につける。 ・被服制作の基本を科学的に理解する。	・主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適・機能的な着装に関して問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、課題解決する力を身につける。		・よりよい社会の構築に向けて、衣生活の科学と文化について課題解決に主体的に取り組む、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践する。	
単元の学習内容		衣服の役割や文化、衣生活を取り巻く状況について学習する。				
		衣生活の自立を考え、衣服の材料や管理の方法を科学的に学習する。				
		衣服製作の基本を学習する。				
		小物及び衣服制作を通して裁縫の技術を身につける。				
単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		・衣服の役割と歴史や文化、衣生活を取り巻く状況を理解している。 ・被服制作の基本を理解し、実習を通して基本的な技術を習得することができる。 ・被服制作の基本を科学的に理解している。	・主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適・機能的な着装に関して問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、課題解決する力を身につけている。		・よりよい社会の構築に向けて、衣生活の科学と文化について課題解決に主体的に取り組む、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践している。	
主な評価方法	定期考査	○	○			
	実技実習	○	○			
	宿題				○	
	授業プリント		○		○	
	行動観察				○	
	レポートの記述				○	
	授業の取り組み	○	○		○	
配当時間		15時間				
補足等						

単元の計画

教科名		家庭	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力	・発見力 ・学ぶ力
科目名		家庭総合	教材 題材	教科書 授業プリント		
単位数		2				
単元名		生活を支える経済				
内容のまとめり		1収入と支出 2貯蓄と負債 3世界とつながる家計 (C消費生活と持続可能な社会)				
単元の目標		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		・消費生活の現状と課題について理解を深める。 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画について理解する。	・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、ライフステージごとの課題や社会保障と関連付けて問題を見出し、解決策を考える。		・よりよい社会の構築に向けて、消費生活について課題解決に主体的に取り組む、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践している。	
単元の学習内容		収入と支出について、社会情勢による変化やライフステージによる変化について学習する。				
		生涯を見通し、貯蓄の必要性や生活における経済計画の立て方について学習する。				
		資金調達は貯蓄だけでなく、金融商品の購入やローンを組む方法があることを学習する。				
		家計と国民・国際経済の関係、経済循環における家計の位置付けについて学習する。				
単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		・消費生活の現状と課題について理解を深める。 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画について理解しようとしている。	・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、ライフステージごとの課題や社会保障と関連付けて問題を見出し、解決策を考えている。		・よりよい社会の構築に向けて、消費生活について課題解決に主体的に取り組む、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	
主な評価方法	定期考査	○	○			
	実技実習				○	
	宿題	○				
	授業プリント		○		○	
	行動観察		○		○	
	レポートの記述				○	
	授業の取り組み		○		○	
配当時間		5時間				
補足等						

単元の計画

教科名		家庭	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力	・発見力 ・思考力 ・コミュニケーション力
科目名		家庭総合	教材 題材	教科書 授業プリント		
単位数		2				
単元名		消費行動と意思決定				
内容のまとめ		1消費生活の現状 2消費生活の落とし穴 3行動する消費者 (C消費生活と持続可能な社会)				
単元の目標		知識・技能 ・消費生活の現状と課題について理解を深める。 ・消費行動における意思決定について理解を深める。	思考・判断・表現 ・自立した消費者として生活情報を活用し適切な意思決定に基づいて行動できるよう、責任ある消費について問題を見出して課題を設定し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につける。		主体的に学習に取り組む態度 ・よりよい社会の構築に向けて、消費行動と意思決定について、課題解決に主体的に取り組み、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践する。	
単元の学習内容		近年の消費者問題を知り、被害にあわないために客観的に検討することや対処法について学習する。				
		成年年齢引き下げと契約の仕組みを学習する。				
		クレジットカードの仕組みと多様なキャッシュレス決済について、短所と長所を学習する。				
		消費者として、社会への影響を考えて行動する責任と意思決定の重要性について学習する。				
単元の評価規準		知識・技能 ・消費生活の現状と課題について理解を深めている。 ・消費行動における意思決定について理解を深めている。	思考・判断・表現 ・自立した消費者として生活情報を活用し適切な意思決定に基づいて行動できるよう、責任ある消費について問題を見出して課題を設定し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。		主体的に学習に取り組む態度 ・よりよい社会の構築に向けて、消費行動と意思決定について、課題解決に主体的に取り組み、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。	
主な評価方法	定期考査	○	○			
	実技実習		○			
	宿題				○	
	授業プリント	○	○		○	
	行動観察				○	
	レポートの記述	○	○		○	
	授業の取り組み				○	
配当時間		5時間				
補足等						

単元の計画

教科名		家庭	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力	・学ぶ力 ・探究力 ・思考力 ・寛容力 ・コミュニケーション力
科目名		家庭総合	教材 題材	教科書 授業プリント		
単位数		2				
単元名		持続可能なライフスタイルと環境				
内容のまとめり		1消費生活の裏側で 2消費者として取り組む 3持続可能な社会とライフスタイル (C消費生活と持続可能な社会)				
単元の目標		知識・技能 ・自分の消費生活のあり方と環境問題について理解を深める。 ・世界の環境問題をはじめとする課題を理解する。 ・将来の経済的自立について考えを深める。	思考・判断・表現 ・自分の消費生活と環境問題について考え、責任ある消費について課題を設定し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につける。		主体的に学習に取り組む態度 ・自分の消費生活と環境問題について考え、課題解決に向けて主体的に取り組み、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践する。	
単元の学習内容		自分の消費生活のあり方と世界の環境問題とのつながりについて学習する。				
		今日の世界の環境問題をはじめとする課題と、それらを解決していくために、今自分ができることについて考える。				
		将来の経済的自立について学習する。				
単元の評価規準		知識・技能 ・自分の消費生活のあり方と環境問題について理解を深めている。 ・世界の環境問題をはじめとする課題を理解している。 ・将来の経済的自立について考えを深めている。	思考・判断・表現 ・自分の消費生活と環境問題について考え、責任ある消費について課題を設定し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけてる。		主体的に学習に取り組む態度 ・自分の消費生活と環境問題について考え、課題解決に向けて主体的に取り組み、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。	
主な評価方法	定期考査	○	○			
	実技 実習				○	
	宿題				○	
	授業プリント		○		○	
	行動観察				○	
	レポートの記述	○			○	
	授業の取り組み	○			○	
配当時間		5時間				
補足等						

単元の計画

教科名		家庭	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力	・表現力 ・自己指導力
科目名		家庭総合	教材 題材	教科書 授業プリント		
単位数		2				
単元名		食生活の科学と文化				
内容のまとめ		1日本の食生活の今 2食の科学と健康 3美味しさと安全の科学 4さあ料理を始めよう				
単元の目標		知識・技能 ・食生活を取り巻く現状など、食と人とのかわりについて理解する。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、食品の栄養的特質について理解する。	思考・判断・表現 ・主体的に食生活を営むことができるよう健康に配慮した自己と家族の食事について課題を見出し、解決策を構想し、考察したことを、根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題解決する力を身につける。	主体的に学習に取り組む態度 ・よりよい社会の構築に向けて、食生活の科学と文化について課題解決に主体的に取り組む、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践する。		
単元の学習内容		一日分の献立を考える。				
		衛生的な調理の方法、食材の管理について学習する。				
		地元でとれる食材について学習する。				
		簡単な調理の方法を学び、実習を通して技術を身につける。				
単元の評価規準		知識・技能 ・食生活を取り巻く現状など、食と人とのかわりについて理解する。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、食品の栄養的特質について理解している。	思考・判断・表現 ・主体的に食生活を営むことができるよう健康に配慮した自己と家族の食事について課題を見出し、解決策を構想し、考察したことを、根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題解決する力を身につけている。	主体的に学習に取り組む態度 ・よりよい社会の構築に向けて、食生活の科学と文化について課題解決に主体的に取り組む、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。		
主な評価方法	定期考査	○	○			
	実技実習	○	○			
	宿題			○		
	授業プリント	○	○			
	行動観察			○		
	レポートの記述	○	○	○		
	授業の取り組み			○		
配当時間		10時間				
補足等						

単元の計画

教科名		家庭	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力	・学ぶ力 ・探究力 ・思考力 ・自己指導力
科目名		家庭総合	教材 題材	教科書		
単位数		2		授業プリント		
単元名		子どもの生活と保育				
内容のまとめ		1子どもの世界 2育つ子ども 3子どもと関わる 4子どもの育ちを考える (A人の一生と家族家庭及び福祉)				
単元の目標		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		・子どもの生活と発達、遊びについて理解を深める。 ・子どもの発達に応じて適切に関わるための技術を身につける。	・子どもの健やかな発達を支えるために、子供との適切なかかわり方に問題を見出して、課題を設定し、課題解決する力を身につける。		・よりよい社会の構築に向けて、子どもとの関わりと保育・福祉について、課題解決に主体的に取り組み、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践している。	
単元の学習内容		子どもの生活や遊びの意義について学習する。				
		子どもの育ちを支える福祉や経済支援について学習する。				
		子どもの遊び道具を製作する。				
		子どもとの適切な関わり方を学習する。				
単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		・子どもの生活と発達、遊びについて理解を深める。 ・子どもの発達に応じて適切に関わるための技術を身につけている。	・子どもの健やかな発達を支えるために、子供との適切なかかわり方に問題を見出して、課題を設定し、課題解決する力を身につけようとしている。		・よりよい社会の構築に向けて、子どもとの関わりと保育・福祉について、課題解決に主体的に取り組み、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	
主な評価方法	定期考査	○	○			
	実技 実習	○				
	宿題				○	
	授業プリント		○			
	行動観察				○	
	レポートの記述		○			
	授業の取り組み				○	
配当時間		10時間				
補足等						

単元の計画

教科名		家庭	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力	・学ぶ力 ・探究力 ・思考力 ・自己指導力
科目名		家庭総合	教材 題材	教科書		
単位数		2		授業プリント		
単元名		ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動				
内容のまとめり		(Dホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動)				
単元の目標		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		・ホームプロジェクト及び学校家庭クラブの意義と実施方法について理解する。	・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につける。		・よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について、課題解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践している。	
単元の学習内容		家庭生活上の課題を設定し解決方法を考える。				
単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		・ホームプロジェクト及び学校家庭クラブの意義と実施方法について理解している。	・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。		・よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について、課題解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	
主な評価方法	定期考査		○			
	実技実習		○			
	宿題				○	
	授業プリント	○				
	行動観察				○	
	レポートの記述				○	
	授業の取り組み	○	○			
配当時間		5時間				
補足等						